

研修医コーナー

もう2年目だなんて信じられません。

大分市医師会立アルメイダ病院

祝 宮 晴

陽春の候、諸先生方におかれましては、ますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。慣れない時候の挨拶で始めさせていただきました大分市医師会立アルメイダ病院で研修中の祝 宮晴と申します。ホラ吹きの本、嘘つきのウ、理不尽のりで「ホウリ」と読みます。1ヶ月毎に診療科が変わるたびに、この自己紹介を擦りに擦ってきましたので、ここで大分県の諸先生方に自己紹介する機会をいただいたのを最後に封印させていただきます。

西洋医学を日本に初めて導入したとされるルイス・デ・アルメイダさんに忠誠を誓い、入社してから早1年が経とうとしています。締め切り当日にこの文章を書いている3月半ば、ちょうど1年前に医師国家試験合格発表がありました。成績不振な学生であった私は、試験で安心した点数をとることが出来ず、卒業旅行中に隙あれば某予備校の予想ボーダーラインを気にして全力で楽しめなかったのを覚えています。つい最近無事にそのリベンジ旅行は果たしてきました。

昨年4月、研修医として総合診療科に配属された際、自分が患者さんの旅立ちをご遺族に宣告する立場に突然立たされた時の衝撃は凄まじいものでした。命の重さ、医師としての責任の大きさを初めて実感した瞬間でした。研修医として丸一年を過ごしてきたの具体的な悩みというのは、先月号までの同期の研修医たちがこのコーナーで書いてくれていた不安や葛藤、苦闘と類似したもののなので割愛させていただきます。決して文字数問題や楽をしようとした訳ではありません。やはり1年目は皆同じようなことで悩み日々もがいているのだなと少し安心した覚えがあります。

そんな激動の毎日を過ごしていますが、様々な診療科や先生方、他職種の方や業務に触れ、新たな知見を学びに学ぶ研修医生活は実に充実しています。自分なりに日々の勉強は、6年間の反省を踏まえて頑張っているつもりですが、やはり大学時代についた差は大きく、同期に追いつくのに必死です。

しかし来年度の研修ローテも固まり俄然やる気は上昇傾向にあります。現段階では全て回ったことのない診療科を研修させていただき、1つでも多くの診療科に触れられるローテーションにしています。机上の学習や実習では気づかなかったその診療科の楽しさや魅力、はたまた見えなかった苦悩や難点を少しでも実践の学習、臨床の場で感じられたらこの上なく素晴らしい研修医2年間になるのではと思います。これだけの診療科を渡り歩けるのは研修医の最大の特権です。

この文章が掲載される4月にはもう後輩が入っています。不安を胸に入職したばかりの自分の目に写った、3人の研修医2年目の先輩方の大きな背中は今でも覚えています。後輩たちにかつての先輩方のような背中を見せることができるでしょうか。日進月歩、日々精進し学びを深めて参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。